



佐藤 博 議員

## 小・中学校の効率・効果的 適正配置計画の認識は

問

市の中学校3校、小学校7校、この過疎過密、あるいは小規模・大規模の状況についてどう認識しているか。

また、桜小学校の学区の住民に、桜小学校の今後について尋ねられるが、きちんと答えることが私はできない。

状況についての認識を伺いたい。

### 学校整備検討協議会を開催したい

答 教育長

文部科学省が小学校の通学距離について4キロぐらいまでとっており、その中に適正に配置されている。桜学区は、近年非常に住宅数が増え、小学校適齢期

の子どもがたくさんいる。

市としてはうれしいことだが、反面、校舎については早急な対応が求められるところである。

学校整備検討協議会を早急に開催し、協議すること考えている。

また、必要とあれば、住民にアンケートもし、PT

Aとか地域の住民の意見を聞き、方向付けをして、実施計画を策定するように教育委員会で考えていきたい。

問

問題は当面する課題と十四山村と合併をしたことに

より、将来的にどう考えるかは、非常に大事なことである。

だから私はこういう問題には時間がかかるから、1年前前からこの問題については質問をしていて、今日

で3回目である。

まだできていないということ、2年半教育長は何をやってきたのか。

教育長の職務、使命とはどのようなことか、どのように認識しているのか、今までどのような問題に取り組みで実績を上げ、業績を上げてきたか伺う。

答 教育長

地域の市民と協力しながら、子どもの健全育成、基礎学力の向上等、誠心誠意努力してきた。

子どもの安全安心を守るということ、蟹江警察にパトロールを依頼したり、きちんちゃんパトロール、スクールガード、その他いろいろな市民の協力を得ながら、安全安心を守ってきた。

### 校名の検討も大きな問題ではないか

問

十四山東部小学校、十四山西部小学校と名前が残っ

ているが、十四山という名前を残すことがいいのか、

これは地域の住民の意見も聞きながら、やはり学校の中に、同じ市立の学校であると自覚をってもらう観点から、校名の検討も一つの大きな問題でなかるのかと思っが、いかがか。

### 時間をかけて考えていく

答 教育長

十四山地区の校名はもともとと思うが、やはり今現在十四山の住民は十四山という名前を非常に大切に思っているから、時間をもらい、今考えることではなく、何年か先に考えることになると思う。

